

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	生物基礎				
教科	理科	単位数	2単位	学年・コース	高校1年 全クラス
使用教科書	生物基礎（数研出版）				
副教材等	新課程 リードLightノート生物基礎（数研出版）				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をたかめる。
- ② 目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を培う。
- ③ 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 生物の特徴 生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝		10月	第3章 ヒトの体内環境の維持	二学期中間考査
5月	光合成と呼吸	一学期中間考査	11月	体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	
6月	第2章 遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配		12月		二学期期末考査
7月	遺伝情報の発現	一学期期末考査	1月	第4章 生物の多様性と生態系 植生と遷移 植生の分布とバイオーム	
8月			2月	生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	
9月	第3章 ヒトの体内環境の維持 体内での情報伝達と調節		3月		三学期期末考査

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

・定期考査 ・小テスト ・実験・観察レポート ・提出物 ・発表 ・グループワーク 等

1年間の評定は、第1学期・第2学期・第3学期の年間を通じて、
上記の内容を総合的に判断して決定します

令和6年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	化学基礎				
教科	理科	単位数	2単位	学年・コース	高校1年 全クラス
使用教科書	高等学校 化学基礎 (第一学習社)				
副教材等	新インプレス 化学基礎ノート (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物質とその変化に興味を持ち、化学的に探求する能力と態度を身につける。
 ② 化学の基本的な概念と原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
 ③ 化学的な事物・現象についての観察や実験を通じ、まとめる力と表現力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	物質の成分 混合物と純物質 物質の構成元素 単体, 化合物, 同素体 状態変化と熱運動	1学期中間考査	10月	溶解と濃度 溶解と溶液, 濃度計算	2学期中間考査
5月	原子の構造 原子の構成, 同位体, 電子配置, 価電子 イオン(生成やエネルギー) 元素の周期表・周期律		11月	化学変化と化学反応式 化学反応の量的関係	
6月	イオン結合(性質, 組成式) 共有結合 電子式, 構造式, 分子間力, 極性など 金属結合(性質など) 結晶の比較	1学期期末考査	12月	酸と塩基 価数, 強弱, 電離度など 水素イオン濃度 水の電離, pH, 指示薬 中和と塩 中和, 塩の種類と反応	2学期期末考査
7月			1月	中和滴定 中和の量的関係 中和滴定(実験操作) 中和滴定曲線 逆滴定, 二段階滴定	
8月			2月	酸化と還元 酸化と還元の定義 酸化数 酸化剤と還元剤の反応 半反応式など	
9月	原子量・分子量と式量 物質質量 (mol) 個数・質量・気体の体積		3月	酸化還元の量的関係 金属のイオン化傾向 電池(ボルタ・ダニエルなど) 酸化還元反応の利用	3学期期末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [実践的な問題を解くために必要な基礎的・基本的な問題]
 ② 思考・判断・表現 [発展的な内容を含む問題や、グラフや図を扱った問題]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [課題, 小テスト, グループワークや実験・観察レポート]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します